

2025 年秋 奨学金の申込みについて（全学生向け）

はじめに

『奨学金』とは、経済的理由で修学が困難な学生に学費や生活費を給付または貸与する制度。
（本学学生の約半数が何らかの奨学金の利用し、学生生活を送っています。）

本学ホームページ（奨学金情報掲載ページ）

https://www.tohoku-mpu.ac.jp/admission/ad_scholarship/



▼奨学金に関する用語の説明

- ・貸与奨学金…将来返す必要のある「借りる」奨学金
- ・給付奨学金…将来返す必要のない「もらう」奨学金
- ・返還…借りた奨学金を返すこと。返済という場合もあります
- ・併用…二つ以上の奨学金を借用または受給すること
- ・利子…借主が貸主へ支払う対価のこと
- ・無利子…利子が付かないこと
- ・有利子…利子が付くこと（在学中は無利息、貸与終了後に利息が発生します）

▼申込み～採用までの流れ

奨学金を申込み場合、一般的な流れは以下の通りです。

採用までには1～3ヶ月程度かかります。奨学金は採用後に振込まれますので、ご注意ください。

募集 → 申請書類提出・ネット入力等 → 選考 → 選考結果通知 → 奨学金振込み …

[奨学金に関する注意事項]

- ◆奨学金の申込みは期限厳守です。スケジュールをよく確認してください。
- ◆募集先が提示している応募要件を満たしているか確認してください。
- ◆募集先が提示している基準（学力・家計など）を満たしているか確認してください。
- ◆奨学金を申込み、貸与・給付を受けるのは学生本人です。
- ◆貸与型奨学金を利用する場合、返還義務は学生本人にあります。申込みの際は、家庭の経済状況等に基づき、奨学金の貸与を受ける必要性、返還時の負担などを十分考慮し、適切な金額を選んで申込みてください。
- ◆書類に不備がある場合、申込みできないことがあります。不備がないよう、提出前によく確認してください。
- ◆確認事項がある場合、学生課から電話することがあります。学生課からは **022-727～**の番号で電話をかけますので、着信があった場合は必ずかけ直してください。
- ◆重要なお知らせは公式メール（学籍番号アドレス）に連絡しますので、1日1回必ず確認してください。
- ◆複数の奨学金を同時に申込んだり（併願）、同時に利用したり（併用）することができる場合があります。申込みようとしている奨学金が併願・併用が可能かどうか確認してみてください。

[個人情報の利用目的]

申込者の個人情報については、奨学生選考及び奨学金に関する連絡（関係先（部署）への紹介や調査等を含む）を行うために利用します。

学生課 奨学金担当（小松島キャンパス 中央棟1階事務室）
〒981-8558 宮城県仙台市青葉区小松島4-4-1
TEL:022-234-4181（代表）
E-mail:shogakukin@tohoku-mpu.ac.jp
※平日 8:30～17:15（土日祝除く）

次の1～5の奨学金を募集しています。申込みたい場合には所定の手続きを行ってください。

<新規募集>1. 日本学生支援機構貸与型奨学金	P.2
<新規募集>2. 高等教育の修学支援新制度(多子世帯支援含む)	P.4
<随時募集>3. 民間育英団体等奨学金	P.7
<随時募集>4. 返還免除制度のある奨学金[薬学部生のみ]	P.7
<随時募集>5. 家計が急変した場合に利用できる奨学金	P.7

1. 日本学生支援機構貸与型奨学金

(1) 奨学金概要および案内

申込みの際は、奨学金案内をよくご確認のうえ、お手続きください。

共通	概要
大学	[大学]奨学金案内(第一種・第二種・入学時特別増額貸与)  [大学]スカラネット入力下書き用紙  [大学]奨学金案内ダイジェスト 
大学院	[大学院]奨学金案内(第一種・第二種・入学時特別増額貸与)  [大学院]スカラネット入力下書き用紙  [大学院]奨学金案内ダイジェスト 

※各キャンパスの事務室付近に奨学金案内ダイジェストを設置していますので、ご自由にお取りください。

(2) 募集期間

2025年9月10日(水)～2025年10月15日(水)

(3) 申込方法

以下①②の手続きを募集期間内に行ってください(どちらか一方では申込みしたことにはなりません)。

①moodleの申込フォーム入力

「学生生活関係」→「奨学金申込フォーム」を入力。

<https://moodle2.tohoku-mpu.ac.jp/moodle/course/view.php?id=3470>



②必要書類の提出

下表記載の書類を募集期間内に学生課へ提出(窓口もしくは郵送(送料自己負担))。

※書類の提出確認後に次の手続き(スカラネット入力等)について、ご案内いたします。

※スカラネット入力後に提出する「奨学金確認書兼地方税同意書」では学生本人の身元確認書類の提出が求められますので、「[身元確認書類一覧](#)」を確認し、あらかじめご準備ください。

▼学部生

	提出書類	備考
1	学修計画書 	・A4片面印刷 ・他の奨学金の提出書類と重複した場合、提出は1部
2	【該当者のみ】証明書類	・ 奨学金案内  P.33「2」必要書類と提出先の確認 記載2～5に該当する書類を提出。 ・他の奨学金の提出書類と重複した場合、提出は1部

▼大学院生

提出書類		備考
1	成績証明書	・申請時点で提出できるもの。 ・他の奨学金の提出書類と重複した場合、提出は1部
2	【該当者のみ】証明書類	奨学金案内  P.27「2」必要書類と提出先の確認」 記載 2~5 に該当する書類を提出。

(4) 参考:スケジュール

10月	10/15(水): moodle 入力および申請書類提出 10/22(水): スカラネット入力 10/29(水): 奨学金確認書兼地方税同意書郵送
11月	-
12月	12月上旬: 選考結果通知(メール) 12/11(木): 奨学金初回振込 12月下旬~1月中旬: 書類配付

(5) 高等教育の修学支援新制度と第一種奨学金を同時に利用した場合

高等教育の修学支援新制度と第一種奨学金を同時に利用した場合、第一種奨学金の貸与月額が自動的に調整されます。これを「併給調整」と言います。金額等の詳細は以下 URL をご参照ください。

なお、場合によっては第一種奨学金の振込超過分を返金いただきますので、あらかじめご承知おきください。

(返金の場合には後日ご連絡します)

<https://polr.tohoku-mpu.ac.jp/9e2>

2. 高等教育の修学支援新制度（多子世帯の大学等授業料等無償化含む）※学部のみ申込可能

(1) 奨学金概要および案内

高等教育の修学支援新制度（多子世帯支援含む）とは、以下 2 つの支援が同時に受けられる制度です。

- ◆授業料等の減免
- ◆日本学生支援機構 給付奨学金の支給

本制度は、以下要件・基準が定められており、日本学生支援機構で選考が行われます。

多子世帯※¹であっても要件・基準に該当していない場合、不採用となりますので、内容を必ずご確認ください。

	授業料等の減免	日本学生支援機構 給付奨学金の支給
申込要件	https://polr.tohoku-mpu.ac.jp/9e6	
学力基準	https://polr.tohoku-mpu.ac.jp/9e7	
家計基準	<p>▼1子・2子世帯の場合</p> <p>【所得要件】 支給額算定基準額※²が 154,500 円未満である。</p> <p>【資産要件】 5,000 万円未満である。</p> <p>▼多子世帯の場合</p> <p>【所得要件】 所得制限なし</p> <p>【資産要件】 3 億円未満である。</p>	<p>【所得要件】 支給額算定基準額※²が 154,500 円未満である。</p> <p>【資産要件】 5,000 万円未満である。</p>

※¹ 多子世帯の条件をご確認ください。<https://polr.tohoku-mpu.ac.jp/9a4>

※² 「2025 年秋の在学採用に申込み場合」に掲出されている内容をご確認ください。

採用となった場合、日本学生支援機構で決定した支援区分に応じた内容で支援が受けられます。

◆授業料等の減免

本学では支援区分に応じた減免額を反映した学費振込依頼書を送付します。採用結果は 12 月上旬に通知されるため、学費の支払準備が整っている方も申込み時に必ず「学費延納願」をご提出いただきます。

支援区分	1子・2子世帯		多子世帯	
	授業料減免額 (年額)	入学金返還額※ ² (1回のみ)	授業料減免額 (年額)	入学金返還額※ ² (1回のみ)
第Ⅰ区分	700,000 円	260,000 円	700,000 円	260,000 円
第Ⅱ区分	466,700 円	173,400 円	700,000 円	260,000 円
第Ⅲ区分	233,400 円	86,700 円	700,000 円	260,000 円
第Ⅳ区分※ ¹	-	-	700,000 円	260,000 円

※¹ 第Ⅳ区分には「多子世帯」「私立理工農系」に分類されるが、本学は「理工農系」に非該当のため、多子世帯に限る。

※² 入学金減免を申請する場合、春の在学採用に申込みた新生のみが対象です。

◆日本学生支援機構 給付奨学金の支給

毎月、奨学生本人名義の口座に給付奨学金が振り込まれます。なお、採用結果は12月上旬に通知されるため、初回振込み時は、10月～12月までの金額がまとめて入金されます。

支援区分	自宅通学※2	自宅外通学
第Ⅰ区分	38,300円(42,500円)	75,800円
第Ⅱ区分	25,600円(28,400円)	50,600円
第Ⅲ区分	12,800円(14,200円)	25,300円
第Ⅳ区分※1	9,600円(10,700円)	19,000円

※1 第Ⅳ区分には「多子世帯」「私立理工農系」に分類されるが、本学は「理工農系」に非該当のため、多子世帯に限る。

※2 生活保護(扶助の種類を問いません)を受けている生計維持者と同居している人及び社会的養護を必要とする人で児童養護施設等から通学し、「自宅通学」扱いの方は金額が異なります。詳しくは[奨学金案内](#)  をご確認ください。

本制度は、内容が複雑で分かりにくいいため、申込みの際は必ず奨学金案内をご確認ください。

- ・ [概要](#)
- ・ [奨学金案内\(日本学生支援機構給付奨学金\)](#) 
- ・ [スカラネット入力下書き用紙](#) 
- ・ [奨学金案内ダイジェスト](#) 

※各キャンパスの事務室付近に奨学金案内ダイジェストを設置していますので、ご自由にお取りください。

(2) 募集期間

2025年9月10日(水)～2025年10月15日(水)

(3) 申込方法

以下①②の手続きを募集期間内に行ってください(どちらか一方では申込みしたことにはなりません)。

①moodleの申込フォーム入力

「学生生活関係」→「奨学金申込フォーム」を入力。

<https://moodle2.tohoku-mpu.ac.jp/moodle/course/view.php?id=3470>



②必要書類の提出

下表記載の書類を募集期間内に学生課へ提出(窓口もしくは郵送(送料自己負担))。

※書類の提出確認後に次の手続き(スカラネット入力等)について、ご案内いたします。

※スカラネット入力後に提出する「奨学金確認書兼地方税同意書」では学生本人の身元確認書類の提出が求められますので、「[身元確認書類一覧](#)」を確認し、あらかじめご準備ください。

提出書類		備考
1	学修計画書 	・A4片面印刷 ・他の奨学金の提出書類と重複した場合、提出は1部
2	学費延納願 	A4片面印刷
3	【該当者のみ】証明書書類	・ 奨学金案内  P.26 「2」必要書類と提出先の確認 記載2、3、5、6、7に該当する書類を提出。 ※4は採用後に提出なので、今回は不要。 ・他の奨学金の提出書類と重複した場合、提出は1部

(4) 参考:スケジュール

10月	10/15(水):moodle 入力および申請書類提出 10/22(水):スカラネット入力 10/29(水):奨学金確認書兼地方税同意書郵送
11月	-
12月	12月上旬:選考結果通知(メール) 12/11(木):奨学金初回振込 12月下旬~1月中旬:書類配付

(5) よくある質問

質問	回答
学力基準に記載されている成績について、どの時点までの内容が見られるのか?	1年生は、高校評定および入試順位、 2年生以上は、1年次から前年度までの累計修得単位数および平均成績に基づき選考を行っています。
授業料等減免額はどのように反映されるのか?	日本学生支援機構で決定される支援区分に応じた減免額を反映した学費振込依頼書を送付します。 授業料を500,000円とした場合の例は以下のとおりです。 <u>例1:支援区分が第Ⅲ区分の場合</u> 授業料減免額は年額233,400円のため、 半期ごとに116,700円を学費から差し引き。 ⇒500,000円-116,700円+その他費用を振込依頼 <u>例2:支援区分が第●区分(多子)や多子世帯の場合</u> 授業料減免額は年額700,000円のため、 半期ごとに350,000円を学費から差し引き。 ⇒500,000円-350,000円+その他費用を振込依頼
学費を支払える準備が整っている場合でも、「学費延納願」は提出しなければならないのか?	はい、必ずご提出ください。 12月上旬の採用結果確定後に授業料等減免額を反映した学費振込依頼書を発送するため、納入期限(後期は11月末)に間に合いません。そのため、納期を2月末まで(最終学年のみ12月15日まで)延長する必要があります。学費を支払う準備が整っている場合でもご提出ください。
多子世帯なのに、不採用となりました。なぜなのか?	多子世帯であっても要件・基準を満たさない場合は採用となりません。以下いずれかに該当する場合は、不採用となりますので、必ずご確認ください。 1) P.4記載の要件・基準を満たしていない 2) 生計維持者の地方税情報で、扶養親族が3名以上と確認できない 3) 学生本人が保護者の扶養に入っていない 4) スカラネット入力時に子どもの数を2名以下で申告していた
(高等教育の修学支援新制度に採用後)自宅外通学でスカラネットを入力したのに、採用後その内容が反映されていない。	スカラネット入力時に「自宅外通学」を選択していた場合も採用時は自動的に「自宅通学」と登録されます。通学形態の変更につきましては、採用時にご案内いたします。

3. 民間育英団体等奨学金

◆民間育英団体・地方公共団体等奨学金

大学に案内がきたものについては、随時、大学ホームページに掲載します。申込み方法は大学を通じて申込む場合と、学生が直接申込む場合がありますので、ご注意ください。

また、案内がない場合でも、各都道府県・市区町村で奨学金事業を行っている場合がありますので、気になる方は各市町村ホームページ等で確認してください。

※検索サイトは「ガクシー」がおすすめです(右記 QR コード参照)



5. 返還免除制度のある奨学金 [薬学部生のみ]

◆返還免除制度のある奨学金

卒業後、薬局や病院などの事業所に薬剤師として勤務することを条件に貸与され、一定期間勤務すると返還が免除になるタイプの奨学金です。大学に案内がきているものについては、一覧表にし、毎月 1 日頃にキャンパスメイトにてお知らせします。申込む場合は直接、事業所にご連絡ください。

(例:5・6 年生を対象に月額 50,000 円を貸与、卒業後 2 年以上の勤務で返還免除)

6. 家計が急変した場合に利用できる奨学金

・家計急変事由が発生した場合、以下の奨学金が随時申込み可能です。

希望する場合は、[こちら](#)をご確認のうえ、速やかに学生課(奨学金担当)までご相談ください。

- ①日本学生支援機構奨学金(貸与)…家計急変事由発生から 12 ヶ月以内に申込み
- ②高等教育の修学支援新制度 …家計急変事由発生から 3 か月以内に申込み